

化学と教育

第71巻 第9号 2023年 目次

ヘッドライン 化学リテラシーを身につける Part 2

“マイナスイオン”やある種のサプリメントなど、化学の力を謳っているものの、その化学（科学）的な根拠は曖昧である商品が世に溢れている。一方、有害物質の測定値が独り歩きするなど、インターネットの普及によって手に入りやすくなった“化学（科学）的な”情報に振り回されている例も多い。新型コロナウイルス感染症の流行で消毒薬や空間除菌の効果、ワクチンの有効性なども話題となった。これら氾濫する情報を正しく理解・活用するためには、専門家だけでなく一般市民も手に入る情報を整理し、客観的かつ冷静に判断できるようになることが望ましい。高等学校までの化学を学んでいれば、その素養（リテラシー）は身につけているはずであるが、実際には学んだことが有効に役立てられているとは言いがたい。そこで、化学（科学）リテラシーを身につけるためには何をすべきか、どのような理解が必要か、について考える。本ヘッドラインは、64巻（2016年）9月号の続編である。

日本の化学（科学）リテラシーの現状と課題	後藤 顕一	360
コロナ禍で改めて考える疑似（似非）科学	山本輝太郎	364
高等学校で身につけておきたいレポートの書き方	野島 高彦	368
科学リテラシー：科学論からのアプローチ		
—主に科学史を事例とした授業案の考察と課題—	河野 俊哉	372
化学の知識がなくても楽しく日本科学未来館の「元素トーク」	太田 努	376

◆ 化学教育 徒然草

ジェンダード・イノベーション	相田美砂子	357
----------------	-------	-----

◆ 実験の広場

ビギナーのための実験マニュアル		
熱の移動とヒートパイプ	松岡 雅忠	380
科学賞の受賞をたたえて		
東京都立日比谷高等学校 化学探究部 セルロースを使った半透膜生成法の改良	加戸 百合	382

表紙の言葉 第一薬科大学

第一薬科大学は、「個性の伸展による人生練磨」を建学の精神と掲げ、1960年に西日本初の薬科大学として設立され、およそ1万5000人の薬剤師と薬学関係者を輩出してまいりました。2016年には西日本初の漢方薬学科が開設され、2020年には全国で初めて薬科大学薬学部に併設された看護学部を設置し、薬物療法に強い看護師の養成にも取り組んでおります。

2023年からは薬学部薬科学科に理科の教職課程が新設され、薬と健康に関する知識をもった理科教員（中学校・高等学校）の育成も始め、高大連携事業にも積極的に取り組んでいます。

◆ 新・講座：ラジカルの化学

- ①ラジカル化学の基礎と高校化学におけるラジカル 梶原 篤…………… 384
②材料としての有機ラジカル 松井 康哲…………… 388
③ラジカルイオンの触媒的立体制御 浦口 大輔…………… 392

◆ 実践報告

- エタノール蒸留中の温度変化 山本 喜一…………… 396

◆ 論文

- 金属のイオン化傾向を視覚化する実験教材 —銀ろうをアノードに用いた電解精錬モデル—
沼 希美, 鎌田 正裕…………… 400

- ◆ Chemical Bonds 支部／教育・普及部門だより…………… 404

◆ Color Gallery

- 実験の広場 熱の移動とヒートパイプ 松岡 雅忠…………… 口絵 28
実験の広場 東京都立日比谷高等学校 化学探究部 セルロースを使った半透膜生成法の改良
加戸 百合…………… 口絵 29
論 文 金属のイオン化傾向を視覚化する実験教材
—銀ろうをアノードに用いた電解精錬モデル— 沼 希美, 鎌田 正裕…………… 口絵 30

会告

△ 日本化学会から

- 2024年度選出「代議員」選挙について（ウェブ投票のお願い）…………… 405
日本化学会秋季事業 第13回CSJ化学フェスタ2023参加登録のご案内…………… 408

- 行事一覧…………… 409 ■ 編集後記…………… 412

次号ヘッドライン 原子力産業と化学

使用済み核燃料の再処理とその化学
高レベル放射性廃棄物の地層処分と化学
福島第一原子力発電所の廃炉と化学

池田泰久
館 幸男
二田郁子